

近年の研究紹介

中東 靖恵 研究室 2014.10.31

南米日系移民の日本語と日本語教育に 関する社会言語学的研究

ブラジル、パラグアイ、ボリビア、アルゼンチン、ペルーなど南米諸国にはかつて多くの日本人が移住し、南米各地に数多くの日系コミュニティが築かれてきました。日本人移民がもちこんだ日本語とホスト社会の言語であるポルトガル語・スペイン語とが接触し言語変容が起こりました。そして現在は、世代交代により徐々に移民社会の日本語は衰退しつつあります。移民言語の衰退は日系移民社会における日本語教育にも大きく影響しています。

【『ブラジル日系・沖縄系移民社会における言語接触』ひつじ書房, 2009, 共著】



山陽地方方言に関する社会言語学的研究

日本語は地域的なバリエーションとしての地域方言が豊かな言語です。全国共通語化が進んだ今、地域方言は衰退・消滅の危機にあり、社会の変化とともに地域社会での言語使用も大きく変容しています。地域社会に息づく言葉を記録するとともに、地域社会での言葉の変化を社会言語学的視点から観察することにより、言葉の生きた姿を捉えることができます。このような研究活動は、地域社会で育まれた地域の言葉を次世代に受け継いでいくことにもつながっていきます。

【『井原の方言集—井原地方の話しことば』井原市教育委員会, 2014, 監修】



受験生へのメッセージ

日本語は私たちが日常生活を過ごすうえで欠かせないことばです。少し目線を変えて眺めてみると、日本語の多様で多彩な姿が見えてきますよ。躍動する日本語の姿を一緒に楽しんでみませんか？